

# 大阪府に大きな被害をもたらした過去の気象事例 「平成24年（2012年）8月14日の局地的大雨」＜前線南下＞

## 寝屋川流域で猛烈な雨。高槻市付近では1時間約110ミリ（解析雨量）の雨 ～床上、床下浸水多数発生し、人的被害も発生～

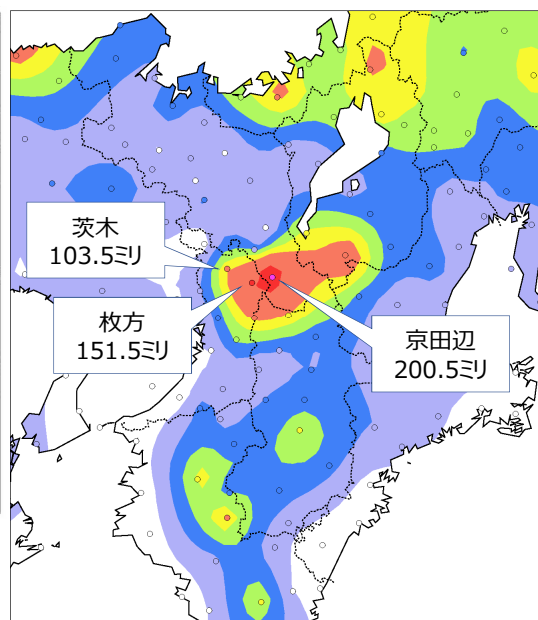
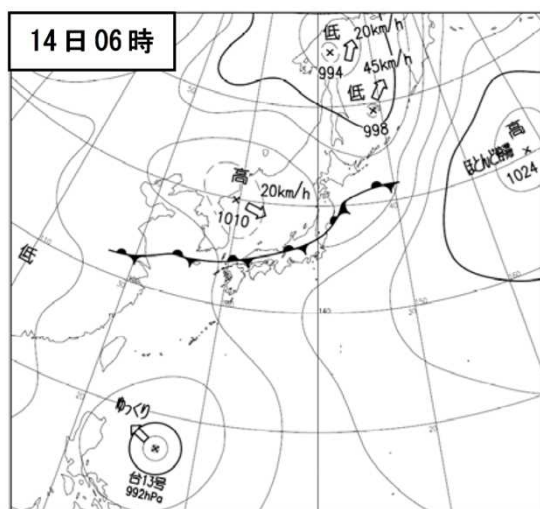
### 【概況】

前線が日本海から西日本に南下し、この前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となった。このため、8月14日明け方から朝にかけて近畿地方の中部を中心に猛烈な雨が降った。

大阪府では、枚方で14日06時20分までの1時間に91.0ミリを観測するなど観測史上1位の値を更新した。また、解析雨量で14日05時30分までの1時間に大阪府高槻市付近で約110ミリの猛烈な雨となった。

この影響で、大阪府で1名が死亡、京都府宇治市で2名が行方不明となったほか、大阪府の寝屋川流域や京都府などで床上浸水、床下浸水などの被害が多数発生した。また、交通機関にも大きな影響が出た。

住家被害：床上浸水2,554戸、床下浸水17,080戸（被害状況：大阪府HP「大阪府を襲った主な災害」より）



寝屋川市内の浸水状況 (寝屋川市早子町)

寝屋川の増水状況 (三箇大橋)

写真：大阪府HP「大阪府を襲った主な災害」より

